

令和2年度 決算報告

法人単位資金収支計算書  
(自) 令和2年4月1日 (至) 令和3年3月31日  
(単位:円)

勘定科目	決算
に事業収入	1,958,340
に事業収入	98,381,493
に事業収入	3,626,554
に事業収入	5,336
に事業収入	165,579
に事業収入	104,137,302
に事業収入	69,399,358
に事業収入	12,597,315
に事業収入	5,666,911
に事業収入	2,726,565
に事業収入	95,531
に事業収入	90,485,680
に事業収入	13,651,622
に施設整備等補助金収入	1,700,000
に施設整備等収入計(4)	1,700,000
に施設整備等収入計(4)	1,320,000
に施設整備等収入計(4)	7,455,651
に施設整備等収入計(4)	8,775,651
に施設整備等収入計(4)	△7,075,651
に施設整備等収入計(4)	203,000
に施設整備等収入計(4)	8,727,193
に施設整備等収入計(4)	8,930,193
に施設整備等収入計(4)	347,000
に施設整備等収入計(4)	61,878
に施設整備等収入計(4)	408,878
に施設整備等収入計(4)	8,521,315
に施設整備等収入計(4)	
に施設整備等収入計(4)	15,097,286
に施設整備等収入計(4)	31,781,209
に施設整備等収入計(4)	46,878,495

法人単位事業活動計算書  
(自) 令和2年4月1日 (至) 令和3年3月31日  
(単位:円)

勘定科目	当年度決算
増収	1,958,340
増収	98,381,493
増収	3,626,554
増収	103,966,387
増収	69,399,358
増収	12,597,315
増収	5,666,911
増収	2,726,565
増収	1,989,250
増収	△836,664
増収	91,542,735
増収	12,423,652
増収	5,336
増収	165,579
増収	170,915
増収	95,531
増収	95,531
増収	75,384
増収	12,499,036
増収	1,700,000
増収	683,193
増収	2,383,193
増収	1,700,000
増収	61,878
増収	1,761,878
増収	821,815
増収	13,120,351
増収	28,670,495
増収	41,790,846
増収	
増収	143,000
増収	287,000
増収	41,646,846

法人単位貸借対照表  
令和3年3月31日現在  
(単位:円)

資産の部				負債の部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	50,262,820	42,754,314	7,508,506	流動負債	4,704,325	12,293,105	△7,588,780
固定資産	28,798,982	23,188,581	5,610,401	固定負債	17,104,000	10,380,000	6,724,000
(基本財産)	16,565,944	16,716,304	△150,360	負債の部合計	21,808,325	22,673,105	△864,780
(その他の固定資産)	12,233,038	6,471,677	5,761,361	純資産の部			
資産の部合計	79,061,802	65,942,895	13,118,907	基本金	10,041,044	10,041,044	
				国庫補助金等特別積立金	2,598,392	1,735,056	863,336
				その他の積立金	2,967,195	2,823,195	144,000
				次期繰越活動増減差額	41,646,846	28,670,495	12,976,351
				純資産の部合計	57,253,477	43,269,790	13,983,687
				負債及び純資産の部合計	79,061,802	65,942,895	13,118,907

編集後記

夏のマスクは暑いですね。熱中症にも気を付けながら暑い夏を乗り越えましょう。

文責：津浦

社会福祉法人 緑樹福祉会

第5号 令和3年7月

緑樹福祉会だより

赤穂市大津 1041  
TEL 0791-45-2240  
FAX 0791-56-9000

http://www.ryokuju-fukushi.com/

理事長挨拶

理事長 三村佳壽子

梅雨明けと同時に酷暑の候となりました。緑樹福祉会の運営につきまして日頃より格別のご理解、ご支援に心より感謝申し上げます。

また、7月12日には牟禮市長、長岡県議はじめ地域の役員様のご臨席を賜りグループホーム「ファミリア」開所式を無事執り行うことが出来ました。これもひとえに多くの方々のご支援、ご協力の賜物と重ねて深謝申し上げます。

平成20年に社会福祉法人としての認可をいただいた折には「我が子を残しての親亡き後」の不安解消に向けての光が見えてくる」と利用者様のご家族が話されたことが鮮明に思い出されます。

グループホームが完成し、一安心となるではありますが、サービスの構築は今からというところです。

グループホームは共同生活援助と言われる障がい福祉サービス事業です。確かにホームでは7名が共同で暮らしていく場所ですが7名をひとくくりで考えてしまいがちですが、それぞれの好みがあり、個性があり、家族があり、その人を想う人たちがあり、人生があることを忘れてはいけません。

障がい者基本法にうたわれているように、ホームに暮らしながら自立と社会参加を実現させていかなければ本当の意味での完成とはなりません。

緑樹福祉会の理念方針である、“社会の中での当たり前生活”に到達できるよう全力を尽くす所存です。

今後とも行政、関西福祉大学の諸先生方、地域の皆様、法人役員の皆様、法人職員、手をつなぐ育成会はじめ多くの皆様方のご支援、励ましを賜りますようお願い申し上げます。



ファミリア (共同生活援助)

管理者 潮田みどり

共同生活援助事業所「ファミリア」は、法人の新規事業として令和3年5月1日に兵庫県より指定を受け、6月15日よりオープン致しました。

また、7月12日にはコロナ禍の自粛ムードの中ではありますが、赤穂市長、県議会議員、また地元である新田地区の自治会長様はじめ大勢の方にお集まり頂き、開所式を執り行うことができました。

グループホーム(共同生活援助)は、居宅介護・短期入所と並んで障害者の地域生活を支えるための中心ともいえる制度です。

誰もが自分が住みたいところで自分なりの生活をするという当たり前の願いの実現です。

グループホーム「ファミリア」は、利用者様が親なき後も地域の中で”自分の望む当たり前の生活を続けていく事を”支援します“”お手伝いします“ではなく、同じ人間同士一緒に考えながら生活していきましょうというスローガンのもとスタートしました。

入居から1ヶ月余り、利用者の方々はまだまだ慣れない生活に戸惑いをかくせません。一日でも早く「ファミリア」が自分の居場所・落ち着ける場所となり、今までご自宅で過ごされたような生活になるよう職員一同力を合わせて取り組んでまいりたいと思います。

## 令和2年度 法人事業報告

新型コロナウイルスの感染拡大で緊急事態宣言が令和2年4月～5月に発令され、2回目が令和3年1月に発令されるという、大変な一年でした。

感染対策を行い、罹患者を出すことなく過ごせました。一方各事業所は行事の中止や活動の変更を余儀なくされました。

そんな中、当法人では永年の願いであった共同生活援助事業所「ファミリア」（赤穂市新田字五ノ前906番の1）の建設に取り組む1年となりました。萩原建築設計の設計で、千種建設株式会社の工事で、令和3年3月23日工事は無事完成しました。

わかば園（生活介護・就労継続支援B型事業）では、他施設との交流行事が中止になるなど活動が大きく制限されました。

てくてく（放課後等デイサービス事業）では、学校が休校、短縮授業で普段とは違った営業となりました。

ぷくぷくほーむ（短期入所・日中一時支援事業）では、利用者さんの安全第一に運営を続けて、順調な一年となりました。

ぱいろっと（相談支援事業）では、学校関係者及び関係機関と連携し、障がい児者100名近い皆様の相談にあたってきました。

各事業は概ね順調な展開となりました。令和2年度決算報告をご参照ください。



### わかば園（生活介護・就労継続支援B型）

管理者 中本定行

わかば園の令和2年度の利用状況は、1日平均生活介護は13.7名、就労B型は12.5名でした。

わかば園では、播但地区の他施設との交流行事「ばんたん親善運動会」「ばんたん・ゆうあい文化祭」は中止になりました。

園内の行事（バーベキュー、バス旅行）も中止にしました。

生活介護の利用者様の皆様には、音楽療法士の先生による楽しみな音楽活動を三蜜を避けるために中止する期間ができました。

就労継続B型の利用者様には、コロナの影響で請負作業が減り、また関西福祉大学の校友会館喫茶室「ライム」が営業を中止するなどの影響ができました。その為工賃の減少ともなりました。



### ぷくぷくほーむ（短期入所・日中一時）

管理者 吉川愛基

現在、日中一時と短期入所を合わせて5名の定員ですが、ほとんどの日が一杯となっています。

初めて利用される方も増え、ぷくぷくほーむに新しい風が吹いています。

ぷくぷくほーむでの過ごし方に関しては、一人一人の利用者様を理解し、どの様に接したらより快適に過ごすことが出来るのかを日々考えながら一日一日を送っています。

ご家族の方からも色々なご意見やアドバイスなどを聞かせていただき、可能な限り取り入れて今まで以上に安全で楽しく過ごせる施設になるよう心掛けていきます。

新型コロナウイルス対策としては、アルコール除菌、手洗い、換気、三密に気を付けて日々対応しています。

## てくてく（放課後等デイサービス）

児童発達管理責任者 藤田真紀子

夏の到来を迎え、暑さも厳しい季節となってきました。

てくてくでは、新しく2名の方が入り、現在17名の方が契約されております。毎日定員数（10名）に届くご利用をいただいております。ひとえにご家庭での健康管理のおかげと感謝しております。

今年も、コロナ対策のためマスク着用をお願いしプレイルームのエアコンをフル稼働しながらの換気を行うため熱中症にも気を付けながら、水分補給や体温調整・体調管理に気を付けていきます。

昨年度からコロナ禍により思うように活動ができておりませんでした。

今年度は、夏休みが始まる8月より感染予防対策をより徹底し、音楽療法を再開することとなりました。

利用者様に楽しく参加して頂けるよう、様子を見ながらになりますが、活動範囲を広げていく予定にしています。

今後も安全で楽しく過ごせ、ご家族が安心してご利用いただけるよう、職員一同努めてまいります。



合作「どうぶつえん」



活動 じゃんけんバスケット



作業



### ぱいろっと（相談支援）

管理者 前田康裕

梅雨明けと同時に厳しい暑さが続いておりますが、皆様お身体お変わりございませんでしょうか。

赤穂市におきましても、新型コロナウイルス感染症のワクチンの接種が始まり、少しずつではありますが、終息に向けて進み始めたのではないかと感じておりましたが、東京では連日感染者数の増加がニュースとなっております。今一度みんなで気を引き締め直し、感染防止対策を徹底しなければと感じております。

さて、「相談支援事業所ぱいろっと」では、現在107名の利用者様とお話をさせていただいております。

それぞれの方が持っておられる様々なお悩み、相談事に対して、一つ一つ丁寧に耳を傾けるという事を目標に日々努めておりますが、ここで痛感いたしますのは、個人の力ではどうしても限界があるという事です。

「餅は餅屋」と言われますように、その分野に精通している専門家が必ずおられますので、個人で難しいと感じた事は「多職種に繋ぐ」「連携してチーム支援を行う」という事を実践し、多くの人を巻き込んで障がいをお持ちの方が適切な支援を受けられるように手配し、さらに最適な支援を受け続けられるようにサポートする事で、利用者様やご家族様が安心して地域で生活出来るお手伝いが出来ればと考えております。

今後とも、各関係機関とのネットワークの構築に尽力しながら、みなさまの「水先案内人」となれるよう努力してまいります。